

恵那市公共施設個別施設計画の概要について

まちづくり企画部 企画課

■ 個別施設計画とは？

政府は、国、地方公共団体等が一丸となってインフラの戦略的な維持管理・更新等を推進するため、「インフラ長寿命化基本計画」（平成25年11月29日インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議決定）を策定し、各インフラの管理者は、平成32年度までのできるだけ早い時期に「個別施設毎の長寿命化計画（個別施設計）」を策定することとした。



計画に基づいた事業を実施した場合、起債対象となる

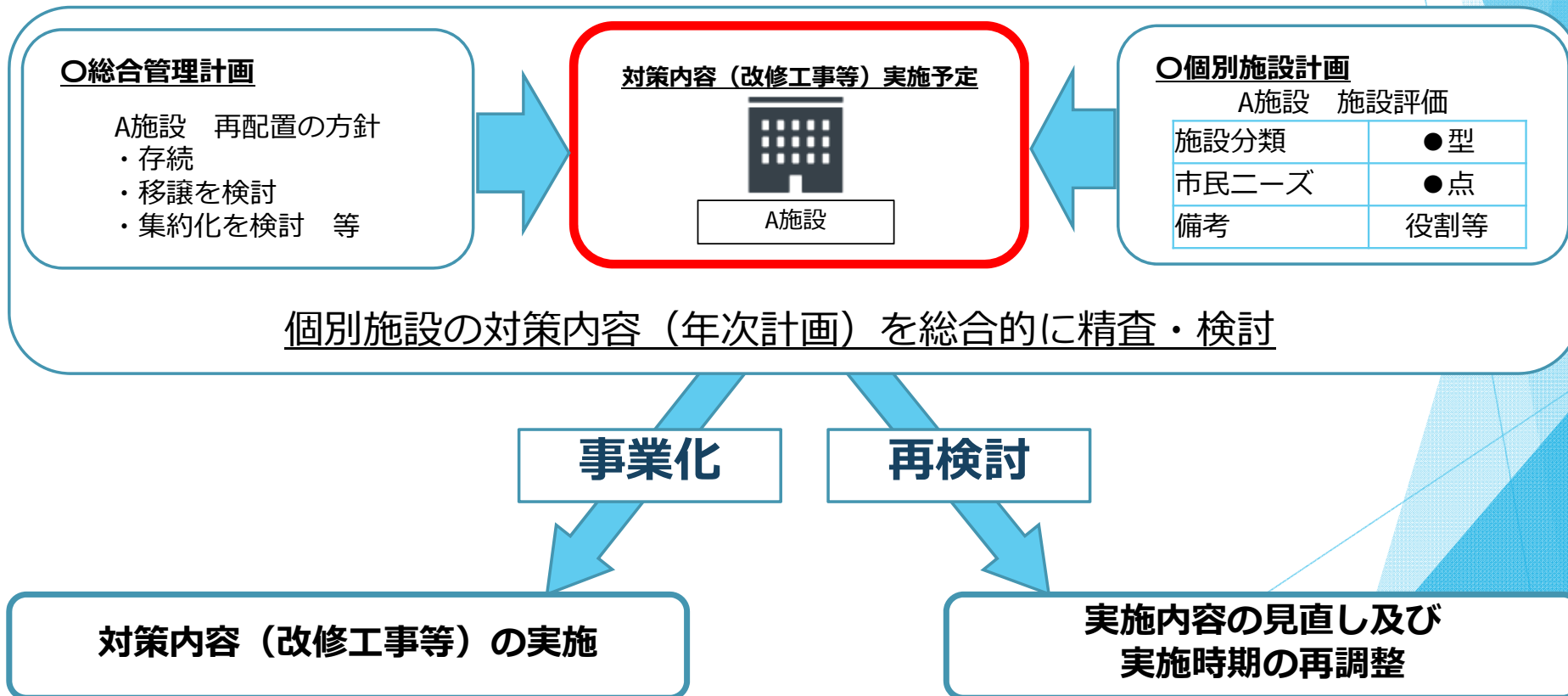
- 公共施設等適正管理推進事業債
（充当率90% 交付税措置率0.47）

個別施設計画 策定方針

番号	項目	内容
1	対象施設	各施設の維持管理・更新等に係る取組状況や利用状況等に鑑み、個別施設のメンテナンスサイクルを計画的に実行する上で最も効率的・効果的と考えられる計画策定の単位や、構造物毎の分類を設定の上、その単位毎に計画を策定する。 →本計画は別に個別で策定するインフラ系（道路、橋梁、水道、下水等）、学校、住宅を除く施設を対象とする。
2	計画期間	本基本計画で示す取組を通じ、知見やノウハウの蓄積を進め、計画期間の長期化を図ることで、中長期的な維持管理・更新等に係るコストの見通しの精度向上を図る。 →総合管理計画との整合性を図るため10年計画とする。
3	個別施設の状態等	点検・診断によって得られた個別施設の状態について、施設毎に整理する。また、個別施設の状態以外の事項について、必要な情報を整理する。 →「対象施設の評価一覧」の作成により対応。
4	対策の優先順位の考え方	個別施設の状態（劣化・損傷の状況や要因等）の他、当該施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等、対策を実施する際に考慮すべき事項を設定の上、それらに基づく優先順位の考え方を明確化する。
5	対策内容と実施時期	対策内容と実施時期：「③個別施設の状態等」及び「④対策の優先順位の考え方」を踏まえ、次回の点検・診断や修繕・更新、さらには、更新の機会を捉えた機能転換・用途変更、複合化・集約化、廃止・撤去、耐震化等の必要な対策について、講ずる措置の内容や実施時期を施設毎に整理する。 →各施設管理者(担当課)により講ずる措置の内容や実施時期を整理した10年計画を作成し、想定される総事業額の上限を中・長期財政計画に基づき設定。
6	対策費用	計画期間内に要する対策費用の概算を整理する。

個別施設の考え方

○個別施設の対策内容（年次計画）については、上位計画である「恵那市公共施設等総合管理計画」における施設の方向性と、今回策定した「個別施設計画」の2点から精査し、事業化を進めます。



■ 対策の優先順位の考え方①

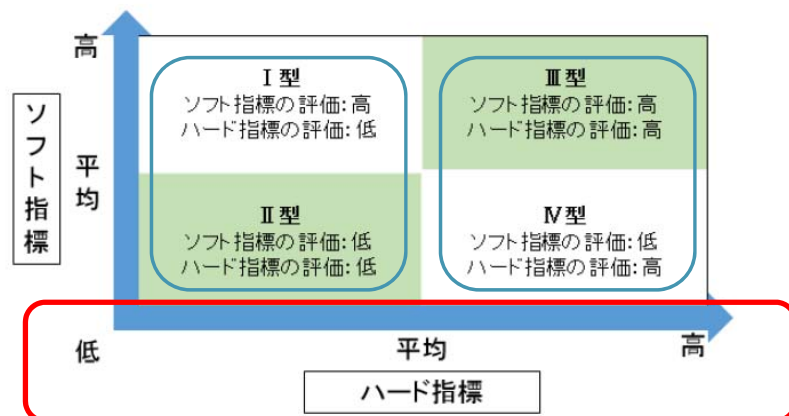
優先順位の考え方に対する基準の設定（ハード）

○個別施設の状態（劣化・損傷の状況や要因等）

→施設管理者による劣化判定の結果に基づき、類似施設との比較を実施します。

・個別施設の状態・利用状況等に基づく施設評価

個別施設の状態（劣化・損傷の状況や要因等）の他、当該施設が果たしている役割、機能、利用状況、施設維持に必要な経費等から市内の類似施設と比較を行い、各施設をⅠ～Ⅳ型で分類する。



類似施設と比較して、劣化が進んでいる場合、「Ⅰ型」「Ⅱ型」に分類される。

類似施設と比較して、施設の状態が良好な場合、「Ⅲ型」「Ⅳ型」に分類される。

(出典：大館市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画)

■ 対策の優先順位の考え方②

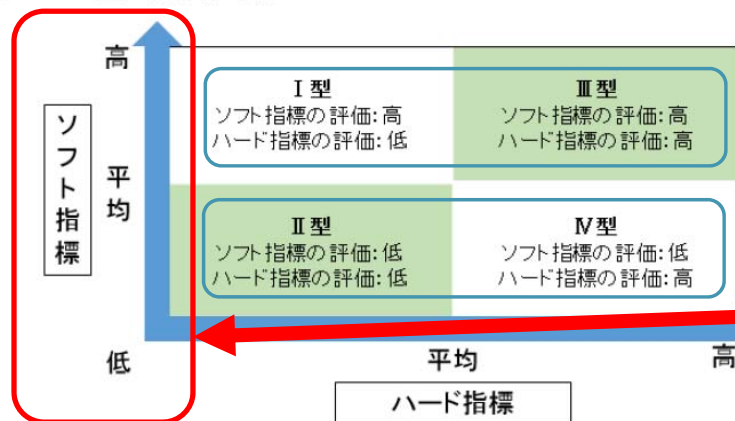
優先順位の考え方に対する基準の設定（ソフト）

○役割、機能、利用状況、重要性等、対策を実施する際に考慮すべき事項

→「年間施設利用者数」「施設規模に対する維持管理費」から類似施設との比較を実施します。

・個別施設の状態・利用状況等に基づく施設評価

個別施設の状態（劣化・損傷の状況や要因等）の他、当該施設が果たしている役割、機能、利用状況、施設維持に必要な経費等から市内の類似施設と比較を行い、各施設をⅠ～Ⅳ型で分類する。



類似施設と比較して、効率的な施設運営が行われている場合、「Ⅰ型」「Ⅲ型」に分類される。


類似施設と比較して、あまり効率的な施設運営が行われていない場合、「Ⅱ型」「Ⅳ型」に分類される。

(出典：大館市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画)

■ 対策の優先順位の考え方③

優先順位の考え方に対する基準の設定（施設分類の結果）

○ハード・ソフト両面からの総合評価の結果は、次のとおり考えられます。

施設評価	内 容	優先順位
I 型	類似施設と比較して老朽化や劣化が進んでおり、年間利用者数・維持費等の観点から効率的な運営・利用が行われているから、対策を行う優先度が最も高い。	高い 
II 型	類似施設と比較すると年間利用者数・維持費等は芳しくない。しかし、施設の老朽化や劣化は進んでいるため、順次対策を行う必要がある。	
III 型	類似施設と比較して施設の状態は良好である。年間利用者数・維持費等の観点から効率的な運営・利用が行われていることから、必要に応じて対策を行う必要がある。	
IV 型	類似施設と比較すると施設の状態は良好であるが、年間利用者数・維持費等は芳しくない。	

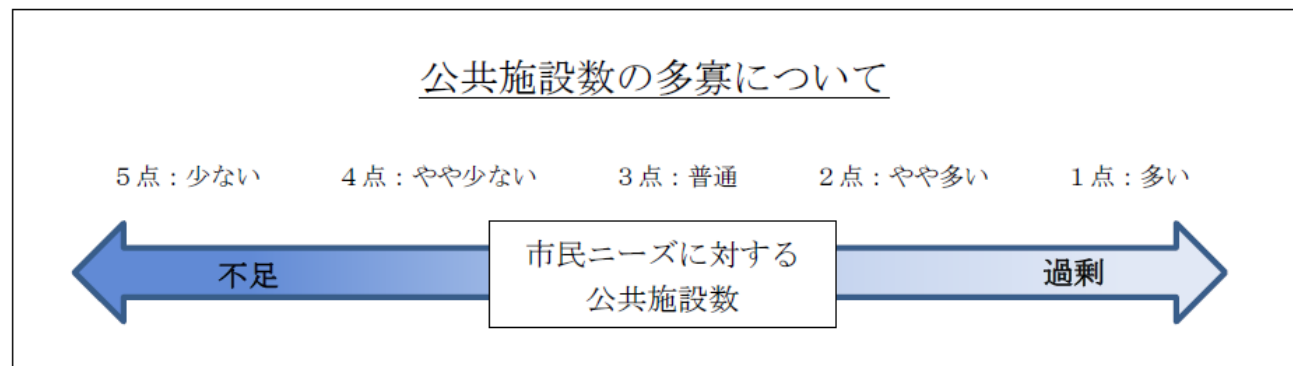
■ 対策の優先順位の考え方④

優先順位の考え方に対する基準の設定（市民ニーズ）

○市民意識調査の結果についても、対策の優先順位の考え方の指標の1つとして、施設大分類ごとに順位付けされます。

・市民ニーズの調査

令和元年度に実施した「恵那市市民意識調査」の中で公共施設に関する調査項目を設定する。各施設大分類に対して「施設数」を5段階で評価を行い、その平均点から市民ニーズに応じた施設大分類の評価を行う。



■ 対策の優先順位の考え方⑤

優先順位の考え方

○今後、計画的もしくは緊急的に施設の修繕・更新等の優先順位を決める必要が発生した場合、原則本計画で実施した施設分類（Ⅰ型～Ⅳ型）と市民意識調査の結果（市民ニーズ）、現在果たしている役割等から総合的に判断して順位を決定します。

（例）A施設とB施設の修繕が必要だが、同年度中どちらかしか片方しか実施できない場合

A施設	
施設分類	Ⅰ型
市民ニーズ	3.5点
備考	避難所

優先的に実施



B施設	
施設分類	Ⅰ型
市民ニーズ	3.0点
備考	-

中・長期財政計画との整合性

○本計画では「1,000万円を超える大規模修繕・改修等」を対象として、各年度の事業費は恵那市中・長期財政計画の「更新・新規」分に基づくこととする。尚、緊急的に実施する事業や計画以外の事業については、各年度**約5億円**程度を想定することとする。

投資的経費の内訳(単位:百万円)

		実施内容の区分	R3	R4	R5	R6	R7
更新整備	改修	<ul style="list-style-type: none"> ・1,000万円以下の修繕等 ・毎年継続的に行っている修繕 	1,264	1,253	1,277	1,265	1,265
	更新・新規	<ul style="list-style-type: none"> ・1,000万円を超える大規模修繕・改修等 ・その他計画に基づかない事業 →5億円程度を想定	1,619	1,617	1,536	1,547	1,547

引用元:令和元年度 恵那市中・長期財政計画